

(11/18)。(3) ホームページ (佐々木) : 第 8 回公開シンポジウム要旨, ニュースレターなどを掲載。(4) タイプ標本データベース (海老原) : データベースの拡充を継続中。証拠標本データベースへの拡大を検討中。(5) メーリングリスト (本川) : 会員数は 864 名。1 年間に 31 名増加。(6) 国際動物命名規約日本語版 (友国) : 26 部を頒布。

< 審議事項 >

(1) 監査員の改選: 次期監査員を後藤哲雄氏 (茨城大学, 日本ダニ学会), 細矢剛氏 (国立科学博物館, 日本菌学会) に依頼する案が承認された。(2) 広報出版委員会の設置: ホームページ, ニュースレター, データベース, 出版, メーリングリストなどに関わる事業を行う広報出版委員会を佐々木 (委員長), 柁原, 海老原, 友国, 三中氏を委員として設置することが諮られ, 承認された。(3) 2008 年度決算・会計監査報告: 分担金支払い状況 (川田), 決算案 (一般会計, 特別会計) (川田, 友国) の説明, 会計監査報告があり, 承認された。(4) 2009 年度事業計画: 以下の事業計画について説明があり, 承認された: 第 8 回公開シンポジウムの開催 (2009 年 1 月 10 日, 「分類学における DNA 情報の活用」),

第 9 回公開シンポジウムの開催, ニュースレター 15 号, 16 号の発行, ホームページ, データベースの充実。(5) 2009 年度予算: 予算案 (一般会計, 特別会計) について説明があり (川田), 承認された。2009 年度の分担金は, 10,000 円となった。(6) 国際動物命名規約修正案と意見募集について諮られ, 承認された。(7) 連合の今後の運営方針について説明があり, 総会ではこれまで通り各学会の長が参加することが確認された。

[シンポジウム]

分類学における DNA 情報の活用

(1) 「ミトコンドリアゲノム全長配列を用いた魚類の大系統解析と分類への応用」宮正樹 (千葉県立中央博物館), (2) 「DNA 塩基配列情報を活用した生物学的種の認識〜シダとキノコを例にあげて」村上哲明 (首都大学東京), (3) 「分類学における DNA バーコードの利用法」吉武啓 (農業環境研究所), (4) 「分類学における情報基盤システム」神保宇嗣 (東京大学大学院総合文化研究科)

学会・シンポジウム情報

2009 年 3 月 12 日 (木) ~ 15 日 (日)

日本植物分類学会第 8 回大会 (宮城県民会館, 東北大, 仙台)
[<http://www.soc.nii.ac.jp/cgi-bin/jsps/wiki/wiki.cgi>]

2009 年 3 月 26 日 (木) ~ 29 日 (日)

日本藻類学会第 33 回大会 (琉球大, 那覇) [本誌大会プログラム]

2009 年 3 月 27 日 (金) ~ 31 日 (火)

平成 21 年度日本水産学会春季大会 (東京海洋大, 東京)
[<http://secure1.gakkai-web.net/gakkai/jsfs/kaikoku/index.html>]

2009 年 5 月 30 日 (土) ~ 31 日 (日)

第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会 (早稲田大, 東京)
[<http://www.waseda.jp/assoc-marine/>]

2009 年 7 月 1 日 (水) ~ 5 日 (日)

International Fossil Algae Association 6th Regional Symposium (University of Milano-Bicocca, Milan, Italy)
[<http://www.geo.unimib.it/ifaa/>]

2009 年 7 月 4 日 (土) ~ 5 日 (日)

日本進化原生生物研究会 (宮城教育大, 仙台)
[<http://square.umin.ac.jp/jsep/>]

2009 年 7 月 18 日 (土) ~ 22 日 (水)

2009 Phycological Society of America Annual Meeting with American Society of Plant Biologists (University of Hawaii, Hawaii State, USA)
[<http://www.psaalgae.org/ops/meetings.shtm>]

2009 年 8 月 2 日 (日) ~ 8 日 (土)

9th International Phycological Congress (国立オリンピック記念青少年総合センター, 東京)
[<http://www.ec-inc.co.jp/ipc9/index.html>] [次頁参照]

2009 年 8 月 23 日 (日) ~ 28 日 (金)

XIIIth International Congress of Protistology (Búzios, Rio de Janeiro State, Brazil)
[<http://www.sbpz.org.br/static/xiiiibr/index.html>]

2009 年 10 月 30 日 (金) ~ 11 月 1 日 (日)

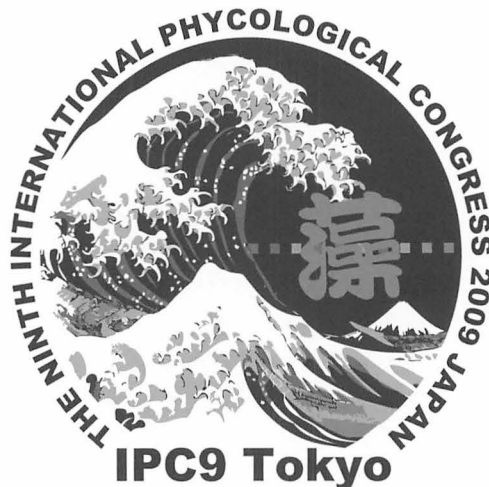
第 42 回日本原生動物学会大会 (石巻専修大, 石巻)
[<http://www.soc.nii.ac.jp/jsproto/index.html>]

お知らせ

英文誌 Phycological Research
掲載論文の和文要旨は, 次号に
英文誌 56 巻 3・4 号分を掲載しま
す。(編)



第9回国際藻類学会議のお知らせ

9th International Phycological Congress (IPC9 Tokyo)

標記の会議が2009年8月2-8日に東京で開催されます。この会議は、基礎・応用を問わず藻学のすべての分野の研究者が集う4年に1度の国際会議です。多くの日本藻類学会員のご参加をお願いいたします。

主催: 国際藻類学会および IPC9 国内準備委員会
日程: 2009年8月2日(日)～8日(土)
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター
 (<http://nyc.niye.go.jp/>)

プログラム

8月2日(日): 受付, 開会式, ウェルカム・レセプション
 8月3日(月): 基調講演, シンポジウム, 口頭発表, ワークショップ
 8月4日(火): 基調講演, シンポジウム, 口頭・ポスター発表, ワークショップ
 8月5日(水): ミッドコンGRESS・ツアー
 8月6日(木): 基調講演, シンポジウム, 口頭・ポスター発表, パンケット
 8月7日(金): 基調講演, シンポジウム, 口頭・ポスター発表, 閉会式, フェアウェル・パーティー
 8月8日(土): 国際藻類学会議国際組織委員会

プレ・コンGRESS・ツアー (予定)

1) 北海道東部方面採集旅行 (7月28日～31日)
 2) 沖縄方面採集旅行 (7月28日～31日)
 3) 伊豆半島方面採集旅行 (7月29日～8月1日)

各種締め切り

2009年3月31日(火): 早期参加申し込み・アブストラクト提出締め切り

2009年5月15日(金): 参加費, 宿泊費, エクスカーション参加費の取り消し手続き最終期限

シンポジウム・ワークショップ

(S1) Comparative evolutionary genomics
 (S2) Phytoplankton dynamics and life cycle
 (S3) Chemical ecology
 (S4) Shifting concepts of speciation
 (S5) Symbioses
 (S6) Algae, bio-fuel and CO₂ sequestration
 (S7) Algae under multiple stress
 (S8) Biodiversity and ecological function
 (S9) Algal disease
 (S10) Alien algae and invasive species
 (S11) Phylogeny – new advances and insights
 (S12) Algae and bioremediation
 (W1) Algae and Environmental Education
 (W2) Algae in Education

公式ホームページ

IPC9の公式ホームページ (<http://www.ec-inc.co.jp/ipc9/>) に順次新しい情報を掲載しますのでご参照ください。

セカンドサーキュラー

IPC9 公式ホームページでダウンロードできます。

コンピーナー

井上 勲 (iinouye@sakura.cc.tsukuba.ac.jp)
 川井浩史 (kawai@kobe-u.ac.jp)
 堀口健雄 (horig@sci.hokudai.ac.jp)